

# 平成26年度 職員提案審査資料

管理番号	提案タイトル	提案内容
2014004	フラットファイルのラミネート加工品導入	共通消耗品のフラットファイルをラミネート加工品に変更することで、リサイクル性が向上させ、大幅な経費削減と廃棄物削減を行う
2014007	FAQ投稿者に対する電話通報への誘導メッセージ表示について	FAQ投稿で、即時対応を要する通報が少なくありません。FAQに書き込んでいただく前に、「お急ぎの内容は直接お電話ください」といった一文を表示するとよいと思います。
2014011	楽しい階段昇降！（健康都市らしく）	本庁舎の階段は、昼夜を問わず薄暗く、今後何年もこの階段を上り下りしなければいけないのかと思うと、気持ちがネガティブになってしまいます。皆が毎日階段の上り下りが楽しくなるような階段にしたいと考えます。地下から1階まで何段、2階で何段、その横にはkcal消費数などを表示してはいかがでしょうか。庁舎内も健康都市らしい部分が見えて、良いのではないかと考えます。
2014016	転出証明書に添付している書類「お礼」について	転出届出の際に交付する「転出証明書」に「大和市から転出される方へ」・「お礼」を添付した上で現在交付しております。「転出証明書」と「大和市から転出される方へ」はA4横印刷で、「お礼」についてはA4縦印刷となっております。市民の方が見やすいように「お礼」の印刷をA4縦印刷からA4横印刷にレイアウト変更することを提案させていただきます。なお、転入時にお渡ししている「ようこそ大和市へ！」につきましては、A4縦印刷のまま変更は必要ないと考えます。転入時に配布する書類は、全て縦印刷となっているためです。また、「お礼」と「ようこそ大和市へ！」は見た目にもそっくりですので、印刷向きを変更することにより、誤って交付してしまうという最悪のミスは限りなくゼロに近づくと考えます。
2014022	多言語バッジの着用について	海外のレストラン等で、自身が話せる言語の、国旗バッジをつけた給仕係を見た事があります。大和市においても多国籍化が顕著であり、日本語が話せない市民の方も多いためと考えられます。（特に窓口のある課・担当の）市職員も話せる言語のバッジを着用することで、上記市民にとって大きな安心を与えられるのではないかと考えます。 ※横浜市の一部地区などでは着用している公共施設もあるようです。
2014023	避難所従事者について	大災害や風水害等が発生した時に避難所従事者は、投票事務に従事する場合と同様に、地元自治会との関係や地域の地理状況の把握、避難所への交通手段等を考慮すると居住地周辺の施設運営に従事することが、効率的だと思います。 また、近隣市と災害時に職員の相互協力等の協定を締結して、それぞれ地元自治体の避難所においても協力できる体制を設けたらどうでしょうか。
2014026	本庁舎1階キッズスペースへのチラシの配架について	本庁舎1階のキッズスペース（正面入口のそば）は、お子さん連れの親御さんが多く利用されると思いますが、ここに子育てに関する情報（イベント等）のチラシを配架してはどうでしょうか。 保健福祉センターに行かない方に対しても、子育てに関する情報が提供できるようになるのは、市民にとっても市にとってもメリットがあると思います。
2014034	消火栓標識の有効な活用方法について	近年の119番通報は、固定電話からの通報を上回り、携帯電話からの通報が最も多く、それに伴い場所を問わず事故や災害を知らせ、消防車・救急車の要請が増加傾向にあります。 通報は市内や事故場所を把握した市民からは少なく、場所を特定できずに消防車・救急車等の要請となり、災害場所を特定することに時間を要し、その後内容を聴取することから、傷病者接触までに時間をようしているのが現状です。 そこで災害現場の特定を手助けするため「消火栓標識」の活用を提案します。 本市では、消火栓・防火水槽等の一部に「消火栓標識」を設置していますが、消火栓が設置されていることを標示しているもので、消火栓上に駐車しない道路交通法以外に市民には実績もなく認知度もほとんどありませんでしたが、自治会に配布したスタンドパイプ消火栓資機材により、市民も消火栓の標識に興味を持ったことでその標識に併せて他の情報を盛り込んで市民にもこの標識を活用利用してもらい市民が迅速・的確に通報を行える方法を提案します。 各標識は円柱で上部に円盤で表示されていることから、円柱に簡素化した情報を表記し、通報時の災害場所を確定するポイントを指令課地図検索装置に入力させ、聴取をスムーズにさせ活動にも役立たせる手段とします。 消火栓は市内に約1370基点在しますが、「消火栓標識」が設置されているのは約62%になり活用の有効性は充分にあります。更に、表示に「やまとん」を併せれば子どもにも理解ができる提示となり、円滑に市民だけに留まらず市外にも浸透することができることから、この方法を提案します。
2014036	外国人住民等への対応の向上に関して	<b>【提案】</b> 外国人など日本語があまり得意ではない来庁者の方への対応を向上させるため、英語を話せる職員が庁内共通の目印をネームプレートに着けることを提案します。 <b>【提案理由】</b> 都内の家電量販店で「I can speak English」と書かれた腕章を着けている店員を見かけ、外国人住民が多い大和市でも活用できるアイデアではないかと考えました。  庁内で外国の方から不慣れな日本語で話しかけられることが時々あります。無理に日本語で会話を続けるよりも英語でお話しするほうが短時間で用件が済むのですが、お客様が英語を理解されるか見た目だけでは判断が難しく、こちらから英語で話しかけることに躊躇してしまいがちです。英語を話せる職員が目印を着けていれば、お客様のほうからもっと気軽に英語で話しかけていただけたと思います。 <b>【利点】</b> ご案内や窓口対応にかかる時間を減らすことができるので、お客様の利便性向上だけでなく、職員の業務時間の無駄を少しでも減らすことにもつながります。 専門的な英語は使えなくても、道案内や申請書の記入方法など、簡単なことだけでも英語でお話しできればそれが助けになるお客様も多いのではないのでしょうか。また、海外留学・滞在経験がある職員のスキルを活用する第一歩になると思います。

管理番号	提案タイトル	提案内容
2014044	行政アプリの開発・活用	<p>近年、急速にスマートホンやタブレット端末が普及しており、特に若年世代は情報取得のツールとして広く活用されている。「今、ここで必要」とされる情報取得を容易にするため、スマートホン等で使用するアプリケーション(行政アプリ)の開発を提案する。これまでの発信型である広報紙や、情報掲示板は掲載できる情報量に限りがあり、詳細な情報を提供することが困難であった。また、本市HPについてはPC用にレイアウトされており、必要な情報をピンポイントで検索する仕様にはなっていない。このようなことから、今後も普及が進んでいくことが予想されるスマートホン用のアプリケーションを開発・提供し、市民生活の利便性の向上に寄与させる。</p> <p>◎期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検索機能が充実することで取り出したい情報の検索が容易となる</li> <li>・プッシュ通知により必要な情報を瞬時に登録の端末に表示することが可能</li> <li>・地図&amp;GPS連動により現在地からのナビゲーション(道案内)が可能</li> <li>・映像・音声ガイドを作成することで、動画による紹介・解説が可能</li> <li>・外国人(外国籍市民、観光客)向け翻訳サービスの展開が可能</li> </ul> <p>◎副次的な効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検索機能が充実することで行政への問い合わせ件数が軽減される</li> <li>・マイナンバー制導入後は、より詳細な行政情報の提供が可能と考えられる</li> </ul> <p>◎活用が期待される業務</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災・防犯 防災・防犯情報、避難所までのルートなどの検索、及び通知(プッシュ通知) ※駅折り返し運行時の帰宅困難者等への情報提供ツールとしても活用が可能</li> <li>2. ごみの分別・収集 居住地に応じたごみ出し日の通知、可燃・不燃ゴミ、資源等の分別方法の検索 ※年末年始や第5週目等の回収日についての通知が可能</li> <li>3. 観光案内 観光ルートの紹介、おすすめスポット、イベント等の案内、コミバス運行情報の検索、通知、ご当地検定</li> <li>4. 子育て等 子育て関連施設(遊具付き公園、保育所、病院等)情報、イベント案内</li> <li>5. 健康管理 病院・医院等の検索、健康診断等の情報提供、夜間・休日診療所の案内</li> </ol> <p>◎アプリケーションの取得方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙や行政情報掲示板、有料ゴミ袋、コミバス停留所など、市が管理する看板等にQRコードを掲載しアクセスする。</li> </ul>
2014050	ヤマトンの顔出しパネルの設置について	<p>シティセールスの一環として、市役所本庁舎にイベントキャラクター「ヤマトン」の顔出しパネルを設置することを提案します。</p> <p>最近、ヤマトンの動画を撮影することが多いですが、いつもヤマトンの周りには多くの人が集まり、とても人気が高いことを実感しているところです。このため、市役所を身近に感じてもらう上での策としてよいかと思い、提案しました。</p> <p>自然観察センター・しらかしのいえの前には、すでに顔出しパネルが設置されています。このように設置事例もあるので、時間も大きくかかるわけではないかと思えます。</p>
2014056	作業服でシティセールス「ヤマトン」を・・・	<p>ヤマトンTシャツやヤマトンポロシャツはありますが、作業服を着る機会の多い職員には、ヤマトンをPRする機会が少ないので、市の作業服の左胸のポケットの上には市章のみプリントしてありますが、右胸のポケットの上の部分に合うようなデザインの「ヤマトン」のアイロンプリントを作成してはどうか？</p>
2014058	ベビーシッター注意喚起のページの工夫	<p>横浜市で発生した事件ではインターネット検索で託児を探し利用したとのことです。そこで”大和市 ベビーシッター”で検索したところ、本市のページが見つかりましたが中身は厚労省の注意喚起のページでした。検索側の意図を考えると、一刻も早く、安く、安全な託児を探していると思いますので、このページに本市事業の一時保育の案内と空き状況をリンクしておけば利用するかたもあると思われ親切であると思います。保育とベビーシッターは意味が違いますが、事件をヒントに少し手を加えることも必要ではないかと思えます。(本市では24時間保育事業はないので同様な事件は回避できないとは思)</p>
2014064	新採用職員による各職場の紹介	<p>市民は、市の職員であれば、全ての業務を知っていると考えていますが、実際は、異動や仕事上接する業務等でないと、なかなか市の職員であっても業務全てに精通することができません。そこで、HPで公表している簡素な紹介ではなく、詳細な各職場の業務紹介等を新採用職員が作成し、Yamato Staff Networkに掲載することを提案します。</p> <p>新採用職員の市の仕事への理解、意欲を高め、先輩職員においても改めて、市の業務を確認し、業務効率化に繋がると考えます。</p>
2014067	女性のサイズに合わせた作業着や作業靴を取りそろえ、常備していただく。	<p>新入社員として入社した女性社員は、Sサイズが準備されていないため、体に合わない作業着を着て現場に出ています。また、靴のサイズも、23センチ以下はありません。女性の社会進出が珍しくない時代で、今後も女性社員が増えていくと予想されるため、女性のサイズに合わせた作業着や靴を常備していただきたいと思えます。</p>
2014069	新採用職員研修において市歌の練習を行う。	<p>職員で市歌を歌える職員が少ないように思う。新採用職員の研修において、市歌の練習をいれ、歌えるようにする。</p>
2014070	ドライブレコーダー録画中のマグネットについて	<p>救急車等、一部で実施されている車体後方への貼付を可能な車両は全て行うことを提案します。ドライブレコーダーは安全運転を促す効果もあると思えますので、他のドライバーの目につきやすい車体後方にも貼付するとよいと考えます。箱バンなどは前方にも貼付できれば効果的です。作成費用が掛かるので難しいかもしれませんがバックミラーで認識できるように反転させたものを貼れたらさらに効果的ではないでしょうか。</p>

管理番号	提案タイトル	提案内容
2014078	督促状関連への赤字表記	督促状等を発送する封筒の表面に「親展 宛名ご本人以外は開封しないでください」と赤字で表記して印刷してみてもう一度はどうでしょうか！ 宛名ご本人が確実に開封し内容を確認してもらうようになるし、誤配達の場合の際にも赤字で書いておくことによって、間違えて開封をされた方にも問題がある場合にも対応できるとおもいます。
2014079	作業服への市名表記について	<p>提案内容： 市の作業服の背面に「大和市」と市名を入れるのはどうでしょうか？ 現在使用している作業服は左胸のポケットの上に市章はありますが、作業服の背面に市名を大きく入れることにより、市の効果的なPRになるとおもいます。</p> <p>必要経費： 作業服は在庫等のこともあると思いますので、「大和市」とアイロンプリントで作成し、作業服を着ている方に配ってもらい、各自で洗濯後にアイロン作業してもらえば、必要経費を安く抑えることができるとおもいます。できれば黒字体のみのものでなく、作業服の色にプリントしても、見栄えするようなカラー字体のものを考えていただきたいです。</p> <p>期待できる効果： 市職員が作業を行っている場合や報道機関の取材が入っている場合には、市の効果的なPRになるとおもいます。</p>
2014080	貸出車両について	車を使用する短時間の用事があっても、貸出車両のほとんどが定期的利用等で押さえられていて利用できないことが多々あるため、短時間(例えば1時間)利用のみに対応する貸出車両を用意することで、効率的な運用が図れるのではないかと。
2014082	災害時職員対応用具の各課配備	<p>■問題点(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害は忘れたころにやってくるというが、先日土砂災害の緊急避難誘導で危機管理課の応援に、市長室内から参加という事態になった際、私自身が用意していた用具(ポロシャツ、チノパン、運動靴)では、不十分であった。</li> <li>・各課の仕事内容に応じて人財課から作業着、雨具等の被服が貸与されていると把握しているが、現場で対象用具を使用する理由がなければ貸与されていない。</li> <li>・実際に作業に従事してみると、市民が一目で見て「市職員」と判断できる用具が必要である。雨具に大和市の文字のひとつでもないと市民から見ても判別ができず、スムーズな対応ができない。</li> <li>・災害時に23万人の市民に対応するためには、危機管理課はもとより全職員に対応する可能性がある。せめて、各課の代表者がいつ何時声がかかったとしても対応できるだけの物品の用意しておくべきではないかと感じた。</li> </ul> <p>■改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市として統一した用具を揃え、動員の際に各課が使えるように準備しておくことが必要。</li> <li>・災害時対応に際して必要な物品(雨具、長靴、ウィンドブレーカー等)を各課に1セット(できればサイズ別)用意し、市職員としていつでも災害時応援のできる体制を確保し、平時から各課でいつでも使用できるよう準備する。これは各個人に委ねるのではなく、市として「大和市」の文字を入れ、用意してはいかだろうか。</li> </ul>